

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（グローバル展開プログラム）  
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要

課題

グローバル人文学：日本文学・芸術・思想の普遍性の探究

研究テーマ名

絵ものがたりメディア文化遺産の普遍的価値の国際共同研究による探求と発信

責任機関

国立大学法人名古屋大学

研究実施期間

平成29年2月～平成31年9月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	阿部泰郎	名古屋大学・文学研究科・教授・人類文化遺産テキスト学研究センター長（宗教テキスト学・中世文学）
グループリーダー	小林健二	国文学研究資料館・教授（中世文学・芸能史・能楽）
研究分担者	齋藤真麻理	国文学研究資料館・教授（中世文学・室町文芸）
研究分担者	海野圭介	国文学研究資料館・准教授（中世文学・和歌注釈）
研究分担者	恋田知子	国文学研究資料館・助教（中世文学・宗教文芸）
グループリーダー	石川 透	慶應義塾大学・文学研究科・教授（中世文学・書誌学・奈良絵本）
研究分担者	佐々木孝浩	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫・教授（中世文学・書誌学・和歌文芸）
研究分担者	高橋悠介	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫・准教授（中世文学・宗教芸能）
グループリーダー	高岸 輝	東京大学・人文社会系研究科・准教授（日本美術史・室町絵画）
研究分担者	山本聡美	共立女子大学・文芸学部・教授（日本美術史）
研究分担者	加須屋誠	奈良女子大学・文学部・教授（日本美術史）
研究分担者	鷹巣 純	愛知教育大学・美術教育学講座・教授（日本美術史）
研究分担者	阿部美香	東京大学史料編纂所・特任研究員（中世宗教文芸）
グループリーダー	阿部泰郎	名古屋大学文学研究科・教授

連携研究者	末松美咲	名古屋大学文学研究科・博士研究員（日本文学）
連携研究者	江口啓子	名古屋大学文学研究科・博士課程後期課程（日本文学）
連携研究者	鹿谷祐子	愛知教育大学非常勤講師（日本文学）
連携研究者	服部友香	名古屋大学附属高校非常勤講師（日本文学）
グループリーダー	伊藤信博	名古屋大学・国際言語文学研究科・助教（日本文化史・博物学）
研究分担者	高橋 亨	椙山女学院大学・国際コミュニケーション学部・教授（日本文学）
研究分担者	龍澤 彩	金城学院大学・文学部・教授（日本美術史）
連携研究者	畑 有紀	名古屋大学国際言語文化研究科・学術研究員（日本文化史）
グループリーダー	阿部泰郎	名古屋大学文学研究科・教授
研究分担者	原口志津子	富山県立大学・工学部・教授（日本美術史）
研究分担者	村松加奈子	龍谷ミュージアム学芸員（日本美術史）
研究分担者	土屋貴裕	東京国立博物館・列品管理課研究員（日本美術史）

#### 配分（予定）額

（単位：円）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
6,341,400円	7,406,100円	4,711,200円	4,914,000円

※平成29年度・平成30年度・平成31年度については予定額

#### 研究目的の概要

日本および海外各地に所在する、日本文化の結晶としての絵巻・絵本と、絵解きの媒体となった各種絵画を対象に、国際的な学際研究により、その文化的意義や社会的機能を解明し、それらの普遍的価値を示す成果としての論文集・図録およびあらたに開発するデジタル・コンテンツなどを各国で共有する。また、教育・学術界における図像メディアと文字テキストのリテラシーの向上普及に貢献し、絵解きなど民衆伝承文化の保存と創造的継承を通じた国際的文化発信の基盤を築く。

#### 研究計画の概要

在外絵巻・絵本・絵画のワークショップを兼ねた調査による高精度データ化と、国内所在資料の研究成果を、海外研究者と共同してグループ、テーマ毎に統合し、この過程で学際・汎領

域研究による学術的高度化を推進する。更に研究成果とデータの共有化のための国際研究集会や展覧会を兼ねたフォーラムにより多角的な学術交流を毎年各国で行う。同時に日本とアジアの絵解き文化伝承を創造的に継承するワークショップも開催し、各研究グループが互いに共同し、より発展的な人文学術基盤を創成する。